

令和4年2月28日

報道機関 各位

青森県地域活力振興課

移住者交流会「移住×仕事のリアル☆あomorいで創るこれからのキャリア」を開催します

県では、人口減少の克服を最重要課題に掲げ、持続可能な青森県の礎となる人財の獲得・還流に県を挙げて取り組んでいるところです。

この度、本県移住者の定着支援の観点から、「仕事」をテーマとした標記交流会を、下記のとおりオンライン開催します。

当日は、本県に移住された方3名をゲストにお招きし、現在のお仕事の内容や働き方についてお話をいただくとともに、青森県の求人事情や、県内の起業・創業支援のリアルな状況等についてもご紹介いただきます。また、参加者の皆さんからもそれぞれのお仕事事情を共有していただきながら交流を深め、これからの本県での仕事や働き方に活かしていただきたいと思います。

つきましては、イベントの事前周知及び当日の取材方について、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 開催日時
令和4年3月5日（土） 16:00～18:00
- 開催場所
オンライン（web会議ツール「ZOOM」を使用）
※ 当日のイベント運営は、県庁南棟2階中会議室で行います。取材くださる場合は当該会議室にお越しください。
※ オンラインでの取材をご希望の場合は、3月4日（金）までに下記担当者に事前にご連絡ください。
- イベント詳細
別添資料をご参照ください。
※ イベントの詳細・お申込み方法は、下記青森県移住・交流ポータルサイト「あomorい暮らし」に掲載しています。
→https://www.aomori-life.jp/news/topics/35_1.html（QRコードは下記）



報道機関用提供資料	
担当課	企画政策部地域活力振興課
担当者	移住・交流推進グループ 副参事 長谷川光昭
電話番号	直通：017-734-9174（内線2734）
報道監	企画政策部 次長 富谷 正行

(ID : 69966)



移住者交流会

「移住×仕事のリアル☆あおもりで創るこれからのキャリア」

■開催趣旨

本県に移住された方に、「仕事」について情報交換ができる機会、頼りになる人や同じ志を持った人と出会う機会を提供するため、移住者交流会を下記のとおり開催する。

■開催日時

令和4年3月5日（土） 16:00～18:00

- ・ゲストによるトークセッション（全体トーク）
- ・グループに分かれての交流タイム

■開催方法

オンライン（web会議ツール「ZOOM」を使用）

■主催

青森県（運営：株式会社まちなかキャンパス）

■参加対象

本県に移住した方（移住予定の方、移住を検討されている方の参加も可）

■申込方法

下記に掲載する申込フォームに必要事項を入力し、お申込みください。【申込締切：3月4日（金）】

https://www.aomori-life.jp/news/topics/35_1.html

■ゲスト

- 小笠原 咲絵さん（東北町出身・Uターン、フリーランスで県内企業の採用・人事支援を行う）
植松 宏真さん（広島県出身・Iターン、AOMORI STARTUP CENTER 起業支援コーディネーター）
奥崎 有汰さん（青森市出身・Uターン、シーズ総合政策研究所所属・リモートワーク実践者）

■司会

- 辻 正太さん（奈良県出身・Iターン、株式会社まちなかキャンパス代表取締役）

【ゲストプロフィール】

小笠原 咲絵（おがさわら さきえ）さん

大学卒業後、株式会社リクルートにて約10年求人広告の営業・企画を経験。育児休業中に実家の母の癌が判明し、闘病に伴走するために子どもと共にUターン。以降、約3年間、旦那東京、私青森の二拠点生活を継続中。2019年7月より県内にてフリーランスの社外人事として活動中。地元企業の採用まわりを業務委託で請負う他、採用関連のプロジェクト等に兼業で複数関わっている。



植松 宏真（うえまつ ひろまさ）さん

東京で書籍編集者としてキャリアをスタート。その後、Web編集者として外国人向け訪日メディア「MATCHA」に転職。社員3名の段階から多言語編集部の立ち上げ・整備を行い、およそ3年間でメディア規模を45万PV⇒450万PVと10倍に成長させる。業務を通じて培った知識を元に、外国人集客・PRのアドバイザー業務にも従事。

それらの経験を活かし、2021年10月から青森市に移住、青森商工会議所に所属し、AOMORI STARTUP CENTER の起業支援コーディネーターに従事している。



奥崎 有汰（おくざき ゆうた）さん

大学院修了後、東京でデジタルサービスのデザインコンサルティング会社に、2015年から2020年まで5年間勤務。UXデザイナーとして、新規事業やサービスのビジョン、コンセプト立案やユーザー体験設計などを行う。地域づくり/コミュニティデザインを中心に行う、シーズ総合政策研究所（本社は島根県。私は東京事務所の所属）に転職したタイミングで、東京都が緊急事態宣言を出したためフルリモートで仕事をスタート。一度も出勤することなく仕事を1年くらい続けていたが、東京にいる意味を感じづらくなり、仕事はそのまま地元青森に帰ることを決意。2021年春に青森へUターンし、フルリモートで業務を続けている。

